

## 看護系大学教育における小児看護学実習の動向と課題

片山 陽子\*・上山 和子

小児看護学

(2011年11月22日受理)

看護系大学の小児看護学実習の動向と課題を検討し、今後の指導方法への示唆を得ることを目的とした。研究方法は、「看護大学教育、小児、臨地実習」をキーワードに文献検索し、65件の文献の中から趣旨に沿った42件の文献を対象に検討を行った。結果、発表年代では、2007年及び2010年が8件で最も多かった。内容では、[実習指導及び方法][技術演習][学生の認識][家族との関係]が挙げられた。特に[実習指導及び方法]では実習指導や実習形態などの有効性、[学生の認識]では対象理解などに焦点を当て教育評価を検討していることが明らかになった。

(キーワード) 看護系大学教育、小児看護学実習、動向、課題、教育評価

### はじめに

2011年現在、看護系大学は200校<sup>1)</sup>設置されている。新見公立短期大学も2010年に新見公立大学へと大学化になった。それに伴い、看護系大学における小児看護学実習が2012年度より開講予定である。日本看護系大学協議会では、看護基礎教育課程において卒業時の到達目標を明確化すること、看護実践能力及び自己教育力の向上を目指すことを提言している<sup>2)</sup>。

臨地実習においては、日々の実践した内容を振り返り自己評価を積み重ねることで自己目標と課題を明確化し、今後の学習活動の方向性を導き出すことが必要である。また、臨地実習では、対象者との援助的人間関係を築くことが求められる。このため、臨地実習前の学生のレディネスの状況を把握し、自己の学習課題を解決できるよう教育方法を検討する必要がある。このような背景を踏まえた上で現在、看護系大学において行われている小児看護学実習の動向と課題を検討することで教育方法の工夫に繋げ開講時の参考とし、指導効果を高めたいと考える。

本研究では、看護系大学における小児看護学実習について文献検討を行い、今後の実習指導の資料とすることを目的とした。

### I. 研究方法

#### 1. 対象

2000年から2011年9月の期間に発表された文献である。Web版医学中央雑誌Ver. 5 (以下「医中誌」)とCiNii国

立情報学研究所論文情報ナビゲータ (以下「CiNii」) 両方を使用し、年代・論文様式は特定せず検索した。

「看護大学教育、小児、臨地実習」をキーワードに検索した。結果、医中誌64件、CiNii 1件、計65件であった。そのうち、要旨から大学看護学科における小児看護学実習に関する論文だけを抽出したところ、分析対象文献は42件であった。

### 2. 分析方法

42件の文献を発表年代、研究方法と研究内容で分類し、分析した。

## II. 結果および考察

### 1. 発表年代

「看護大学教育、小児、臨地実習」のキーワードを使用して医中誌とCiNiiの両方で検索した結果、65件であった。そのうち対象文献は、42件である。

42件の発表年代別の件数をみると、2000年から2005年までは0件から5件、2006年から2011年までは2件から8件で推移していた。発表件数が最も多かったのは、2007年と2010年であった。

2008年には、看護学教育課程における指定規則の改定が行われている。これは、2003年、厚生労働省が「医療提供体制の改革ビジョン」を提示したことに始まった。「医療提供体制の改革ビジョン」を受けて、2006年には、「看護基礎教育の充実に関する検討会」が設置された<sup>3)</sup>。以上の経緯

\*連絡先: 片山陽子 新見公立大学 看護学部 718-8585 新見市西方1263-2

と、対象文献の発表年代を照らし合わせてみる。2005年は発表件数が0件ではあるものの、2003年の「医療提供体制の改革ビジョン」を提示後、2004年には4件と増加傾向にある。2006年の「看護基礎教育の充実に関する検討会」の設置に伴い2007年には8件の発表が見られている。また、2008年の改正後、2010年に論文件数が8件になっていた(図1)。

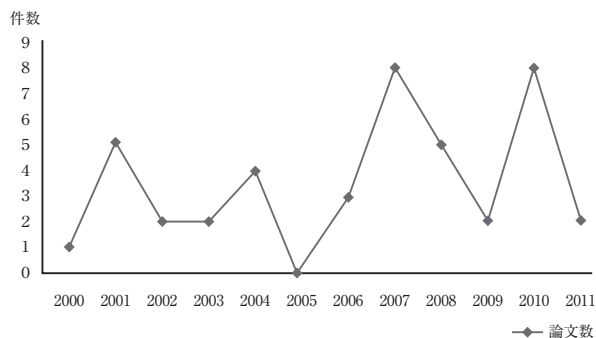


図1 看護大学系教育における小児看護学実習に関する文献の年次推移

## 2. 研究方法

研究方法としては調査研究が圧倒的に多く、調査研究全体では36件であった。調査研究の内訳は、質的研究を行っていた論文が21件、量的研究を行っていた論文が6件、量的研究と質的研究を組み合わせた論文が9件であった。その他、実験研究1件、介入研究1件、事例研究3件、文献研究1件であった。質的研究では内容分析やKJ法が多く使われており、調査用紙への自由記載や実習記録の分析が多く見られた(表1)。

研究の傾向としては、事例研究、文献研究も含めデータを質的に扱ったものが多かった。

## 3. 研究内容

文献の研究内容については研究者間で熟考し次の4つが抽出された。[実習指導及び方法][技術演習][学生の認識][家族との関係]である。研究内容の内訳は、[実習指導及び方法]16件、[技術演習]5件、[学生の認識]14件、[家族との関係]7件であった(表2、表3)。

[実習指導及び方法]の内訳は、「実習指導方法」「実習形態の特徴」「看護過程の指導方法」である。

[実習指導方法]では、効果的な指導方法の検討や実習指導者の認識を明らかにしていた。「実習形態の特徴」で

は、療育施設や外来や保育所・幼稚園実習など各施設による実習の有用性や各施設での学びの特徴などを明らかにしていた。「看護過程の指導方法」は1文献のみであり、小児特有の成長・発達にともなうアセスメント法について検討していた。

[技術演習]の内訳は、「技術演習の効果」「実習中の技術の習得状況」「バイタルサイン測定状況」であった。

[技術演習の効果]では、学生が実習を行う際にスムーズに患児や家族と接することができるように、実習前の技術演習においてどのようなことが重要であるかが明らかにされていた。「実習中の技術の習得状況」では、学生の記録用紙を基礎データとし実習中の学生の技術習得状況を明らかにしていた。「バイタルサイン測定状況」では、実習前に

表2 看護系大学教育における小児看護学実習に関する文献の研究方法による分類 (n=42)

研究方法	実習指導及び方法	技術演習	学生の認識	家族との関係
論文数	16	5	14	7

表3 文献の内容分類の詳細

文献内容	内 訳
実習指導及び方法	実習指導方法
	実習形態の特徴
	看護過程の指導方法
技術演習	技術演習の効果
	実習中の技術の習得状況
	バイタルサイン測定状況
学生の認識	対象理解
	自己理解
	遊びの認識
家族との関係	倫理的ジレンマ
	家族との関係形成
	家族との心理的距離
	母親との関係形成
	コミュニケーションを通じた関係作り 育児ストレスと学生の関わり

表1 看護系大学教育における小児看護学実習に関する文献の研究方法による分類

(n=42)

研究方法	調査研究			実験研究	介入研究	事例研究	文献研究
	質的研究	量的研究	質的・量的研究の組み合わせ				
論文数	21	6	9	1	1	3	1

ロールプレイを行うことで、実習でのバイタルサイン測定に効果的であることが示唆されていた。

〔学生の認識〕の内訳は、「対象理解」「自己理解」「遊びの認識」「倫理的ジレンマ」であった。

「対象理解」では、子どもの理解、受け持ち患児の理解、母親の理解、障害の理解などについて明らかにされていた。

「自己理解」では、自己効力感尺度や自由記載での調査研究において、実習の満足度を明らかにしたものなどがあった。「遊びの認識」では、小児期の遊びの重要性について学生の認識を明らかにしていた。「倫理的ジレンマ」では、学生が実習中に感じた倫理的ジレンマを明らかにしていた。

〔学生の認識〕では、主に「対象の理解」に焦点がおかれていた。これは、小児との触れ合いが少ない現代において、小児の特性を知ることが小児看護学において重要であると示唆されているといえる。

〔家族との関係〕の内訳は、「家族との関係形成」「家族との心理的距離」「母親との関係形成」「コミュニケーションを通じた関係作り」「育児ストレスと学生の関わり」であった。

「家族との関係形成」「母親との関係形成」では、小児看護学の特徴を表しており、患児とその家族が看護の対象であることから家族や母親との関係を明らかにしていた。「家族との心理的距離」「コミュニケーションを通じた関係作り」においては、患児とその家族との関係形成の難しさから、効果的な関係形成の方法を検討していた。「育児ストレスと学生の関わり」では、育児ストレスの軽減に学生のかわりが貢献していることが明らかになっていた（表4）。

#### 4. 看護系大学教育における小児看護学実習における研究

の動向と今後の実習指導への示唆

発表年代としては2007年と2010年が多く、看護系大学の増加に伴い研究件数も増加している。まだ開学後、臨地実習に至っていない大学もあり、実際の教育方法や評価についての報告は今後も増加してくると考える。また、内容では〔実習指導及び方法〕〔学生の認識〕が多い傾向にあった。特に小児看護学において小児の特性に焦点を当てた「対象理解」や「遊びの認識」を含めた〔学生の認識〕に関しては、学生の理解度を検証した教育方法の検討が継続して行われると考える。さらに現在の家族形態の変化に伴う小児及び家族への影響を含めた小児看護の展開の重要性が明らかになった。

このことより、小児看護学実習指導として学生が小児とその家族との関係を形成する際に適切な介入を行うことの必要性が示唆された。

以上のことから、看護系大学教育における小児看護学実習の研究は、看護教育の大学化に伴い実習指導や実習形態の検討が行われている。今後は、看護基礎教育修了時の小児看護学実習の教育評価が課題と言える。

#### 文献

- 1) <http://www.janpu.or.jp/kango/k06.html>；日本看護系大学協議会，2011.9.14アクセス。
- 2) 日本看護系大学協議会広報・出版委員会編：看護学教育Ⅲ看護実践能力の育成，日本看護協会出版会，1-3，2008。
- 3) 杉森みど里，舟島なをみ：看護教育学第4版増補版，医学書院，77-143，2009。

表4-1 対象文献

タイトル	著者	雑誌
小児看護学実習における臨地実習指導の現状と課題 実習指導評価スケールによる指導者の自己評価と学生からの他者評価を比較して	千村裕子 (愛知県心身障害者コロニー中央病院)	日本看護学会論文集：看護教育, 41, 256-259, 2011.
小児看護学実習において看護学生が受持ち児の家族との関係を築く過程	藤田千春 (横浜市立大学医学部看護学科小児看護学), 永田真弓, 廣瀬幸美	横浜看護学雑誌, 4 (1), 49-55, 20011.
病気の子どもの遊びに関する看護学生の認識	渡邊晴美 (国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科)	国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部・福岡看護学部紀要, 6, 73-77, 2010.
学生の認識の発展を促す実習指導に関する事例研究 小児看護学実習における指導者(研究者)の認識に焦点をあてて	甲斐鈴恵 (宮崎県立看護大学)	日本小児看護学会誌, 19 (3)32-38, 2010.
小児看護学教育における技術演習の効果	松井由美子 (新潟医療福祉大学健康科学部看護学科)	新潟医療福祉学会誌, 9 (2), 31-38, 2010.
看護基礎教育の小児看護学実習における外来単独での病院実習の有用性の検討	宮谷 恵 (聖隷クリストファー大学看護学部), 小出扶美子, 山本智子, 市江和子, 高 真喜, 新村君枝	日本小児看護学会誌, 19 (2), 25-31, 2010.
小児看護学における看護過程展開の指導方法の検討 学内演習前後と臨地実習後の学生の自己評価の分析	小川佳代(四国大学), 三浦浩美, 舟越和代	日本看護学教育学会誌, 19 (3), 19-26, 2010.
小児看護学実習における受持ち児の家族と学生の心理的距離の変化	藤田千春 (横浜市立大学医学部看護学科小児看護学), 永田真弓, 廣瀬幸美	横浜看護学雑誌, 3 (1), 32-38, 2010.
重症心身障害児施設実習における学生の障害のとらえ方	富澤弥生 (東北福祉大学健康科学部保健看護学科), 鈴木千明, 石田真知子, 遠藤玲子	日本看護学会論文集：小児看護, 40, 162-164, 2010.
小児看護実習における倫理教育の検討 倫理的ジレンマに関する学生の自由記述の内容分析から	土路生明美 (県立広島大学保健福祉学部看護学科), 鴨下加代, 松森直美	日本看護学会論文集：看護教育, 40, 212-214, 2010.
小児看護学実習における小児科クリニック見学実習の評価	平 元泉 (秋田大学医学部保健学科), 平むつ子, 三戸真由美	日本看護学会論文集：小児看護, 39, 215-217, 2009.
母と子のつながりを考えさせるカンファレンス 母性・小児看護実習終了後の合同カンファレンスを通しての学びの分析	長鶴美佐子 (宮崎県立看護大学), 末吉真紀子, 壺岐さより, 高橋由佳, 甲斐鈴恵, 長友 舞, 黒木三千代, 花野典子, 北村 愛	日本看護学会論文集：看護教育, 39, 391-393, 2009.
保育所実習前後の看護学生の子どもイメージの変化	白水美保 (鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻母性・小児看護学講座), 山下早苗, 武井修治	鹿児島大学医学部保健学科紀要, 18, 15-21, 2008.
小児看護学実習における看護技術経験の現状と課題	小迫幸恵 (山口県立大学看護栄養学部看護学科), 森田秀子, 塩川朋子	山口県立大学学術情報, 1, 28-38, 2008.
育児体験ストレスに小児看護学実習が与える影響の主観的・客観的判定	河上智香 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻), 北見美香, 石井京子, 藤原千恵子	日本看護学会論文集：小児看護, 38, 173-175, 2008.
療育施設見学実習における学生の学び 実習レポートの分析から	佐藤咲子, 平 元泉, 三戸真由美, 平むつ子, 倉内淳子	日本看護学会論文集：小児看護, 38, 164-166, 2008.
小児看護実習における看護技術体験と満足度の施設間差異	鴨下加代(県立広島大学保健福祉学部看護学科), 野村幸子, 松森直美, 土路生明美	日本看護学会論文集：看護教育, 38, 371-373, 2008.
子どもと養育者の継続的観察による学生の学習成果	谷口恵美子 (岐阜県立看護大学育成期看護学講座), 長谷川桂子, 石井康子, 泊 祐子, 西田倫子, 豊永奈緒美	岐阜県立看護大学紀要, 8 (1), 19-24, 2007.
小児科外来実習からの学生の学び	長谷川桂子 (岐阜県立看護大学育成期看護学講座), 石井康子	岐阜県立看護大学紀要, 8 (1), 11-18, 2007.
小児看護学実習における実習指導者の関わりと学生の学び	山口明子 (岐阜医療科学大学保健科学部看護学科)	岐阜医療科学大学紀要, 1, 83-90, 2007.
小児看護技術教育の効果的な演習プログラムの検討 バイタルサイン測定場面のイメージ化をはかる	野口明美 (愛知県立看護大学), 佐野明美, 服部淳子, 山口桂子	日本小児看護学会誌, 16 (2), 24-32, 2007.
小児看護学領域における外来看護についての大学教育の現状	大見サキエ (浜松医科大学医学部看護学科), 片川智子, 宮城島恭子, 金城やす子	看護研究, 40 (4), 383-390, 2007.
「小児救急医療を受ける子どもと家族の看護」に関する教育実践 成育看護実習における学生の学び	小村三千代 (国立看護大学校), 仁尾かおり, 平良七恵, 駒松仁子	国立看護大学校研究紀要, 6 (1), 52-60, 2007.
看護学生の自己効力感と小児看護学実習前の自己評価との関連	舟越和代 (香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科), 小川佳代, 三浦浩美	香川県立保健医療大学紀要, 3, 111-116, 2007.
小児看護学実習におけるバイタルサイン測定時の学生の行動 「対象者との関係形成」の実習評価との関連	三浦浩美 (香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科), 小川佳代, 舟越和代	香川県立保健医療大学紀要, 3, 103-109, 2007.
小児看護技術教育における実際場面をイメージ化できる演習プログラムの検討 学生の子どもへの認識と受け持ち患児の条件からの考察	野口明美 (愛知県立看護大学小児看護学), 佐野明美, 服部淳子, 山口桂子	愛知県立看護大学紀要, 12, 1-8, 2006.
看護学生の保育園実習におけるお楽しみ会(遊びの会)の学び	高橋紀美子 (岡山県立大学保健福祉学部看護学科), 網野裕子	岡山県立大学保健福祉学部紀要, 12, 67-74, 2006.
小児看護学実習における学生の不安 平成13年度～16年度の比較検討	宮崎つた子 (三重大学医学部看護学科), 杉本陽子, 前田貴彦	三重看護学誌, 8, 113-118, 2006.



看護系大学教育における小児看護学実習の動向と課題

表4-2 対象文献

タイトル	著者	雑誌
幼稚園実習における看護学生の学習経験の検討 学習内容の特性と小児看護学実習における意義	永田真弓 (広島大学医学部保健学科看護学専攻), 宮里邦子, 川上晶子, 梶原京子, 田中義人	広島大学保健学ジャーナル, 2 (1), 64-71, 2002.
同じ患児を継続して受持つ学生の学習プロセスの構造 実習の教育効果と実習指導方法の検討	薬師神裕子 (愛媛大学医学部看護学科), 永松有紀, 中村慶子	日本小児看護学会誌, 13 (2), 1-8, 2004.
学生の主体性を引き出す小児看護学教育方法・内容の検討 学習過程の節目毎の認識の変化に焦点を当てて	添田啓子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科), 玉橋貴子, 久木元理恵, 西脇由枝	埼玉県立大学紀要, 5, 117-124, 2004.
小児看護学実習における学生と母親の信頼関係に及ぼす影響要因の検討 学生と母親の言動と実習記録の分析から	野村佳代 (岡山大学医学部保健学科)	日本赤十字看護学会誌, 4 (1), 106-114, 2004.
小児看護学実習における自己評価反応の分析 実習終了後の満足感を中心に	山中久美子 (大阪府立看護大学), 吉川彰二, 永島すみみ	大阪府立看護大学看護学部紀要, 10 (1), 31-41, 2004.
小児慢性病棟実習における学習内容に関する検討 実習記録の分析から	白井徳子 (三重県立看護大学), 村端真由美, 橋爪永子, 上本野唱子	三重県立看護大学紀要, 7, 65-69, 2003.
本学学生の子どもへの関心と子ども理解の変化 小児看護学の講義前と実習後の質問紙による比較から	山中久美子 (大阪府立看護大学), 吉川彰二, 永島すみみ	大阪府立看護大学紀要, 9 (1), 15-23, 2003.
子どもと学生の相互作用の分析 小児看護学実習で作成した流れ図を通して	谷本公重 (香川医科大学医看護), 猪下 光, 尾方美智子	香川医科大学看護学雑誌, 6 (1), 83-91, 2002.
文献からみる小児看護学実習を指導する教員の実態と今後の課題	来生奈巳子 (兵庫県立看護大学), 飯村直子, 江本リナ, 長田暁子, 込山洋美, 鈴木真知子, 筒井真優美, 安田恵美子, 山村美枝	日本小児看護学会誌, 10 (2), 31-37, 2001.
施設における看護系大学小児看護学実習の受け入れ状況	込山洋美 (日本赤十字看護大学大学院), 阿部さとみ, 渡部真奈美, 長田暁子, 飯村直子, 伊藤久美, 江本リナ, 筒井真優美, 安田恵美子, 小村三千代, 福地麻貴子	日本小児看護学会誌, 10 (2), 9-15, 2001.
小児看護学実習における一つの試み 地域で生活する慢性疾患患児への関わりを通して	栗林浩子 (長野県看護大学), 内田雅代, 竹内幸江, 寺島憲治, 扇 千晶	長野県看護大学紀要, 3, 31-42, 2001.
看護系大学における小児看護学実習の実態 安全対策, 教員の負担や困難, 実習評価について	伊藤久美 (日本赤十字看護大学大学院), 飯村直子, 江本リナ, 安田恵美子, 阿部さとみ, 長田暁子, 込山洋美, 筒井真優美, 渡部真奈美, 福地麻貴子, 小村三千代	日本看護学教育学会誌, 10 (4), 11-19, 2001.
看護系大学における小児看護学実習の準備と実際	江本リナ (日本赤十字看護大学大学院), 飯村直子, 伊藤久美, 安田恵美子, 阿部さとみ, 長田暁子, 込山洋美, 筒井真優美, 渡部真奈美, 福地麻貴子, 小村三千代	日本小児看護学会誌, 10 (1), 59-63, 2001.
小児看護学実習における学生の学びの実態について 学生の臨地実習記録の感想と家族・看護婦・学生へのアンケート調査から	竹村真理 (新潟大学医保健)	新潟大学医学部保健学科紀要, 7 (2), 197-203, 2000.

片山 陽子・上山 和子

## **Trends and issues in pediatric nursing education at nursing schools**

Yoko Katayama, Kazuko Ueyama

Pediatric nursing

Department of Nursing, Niimi College, 1263-2 Nishigata, Niimi, Okayama 718-8585, Japan

### Summary

This study aimed to identify trends and issues in pediatric nursing education at nursing schools, and explore effective teaching strategies. A literature search was conducted using “nursing school education, pediatric, and practical training” as keywords, and 42 of 64 studies that are consistent with our study concept were examined. As a result, these studies were most frequently published in 2007 and 2010, with 8 studies for both years, which focused on “practical teaching and methods”, “practice nursing skills”, “student cognition”, and “relationships with family members”. It was revealed that these studies examined educational evaluation while focusing on the effectiveness of practical teaching and training approaches concerning “practical teaching and methods”, and the understanding of the subjects concerning “student cognition”.

Key words: Nursing school, pediatric nursing practice, trends, issues, educational evaluation